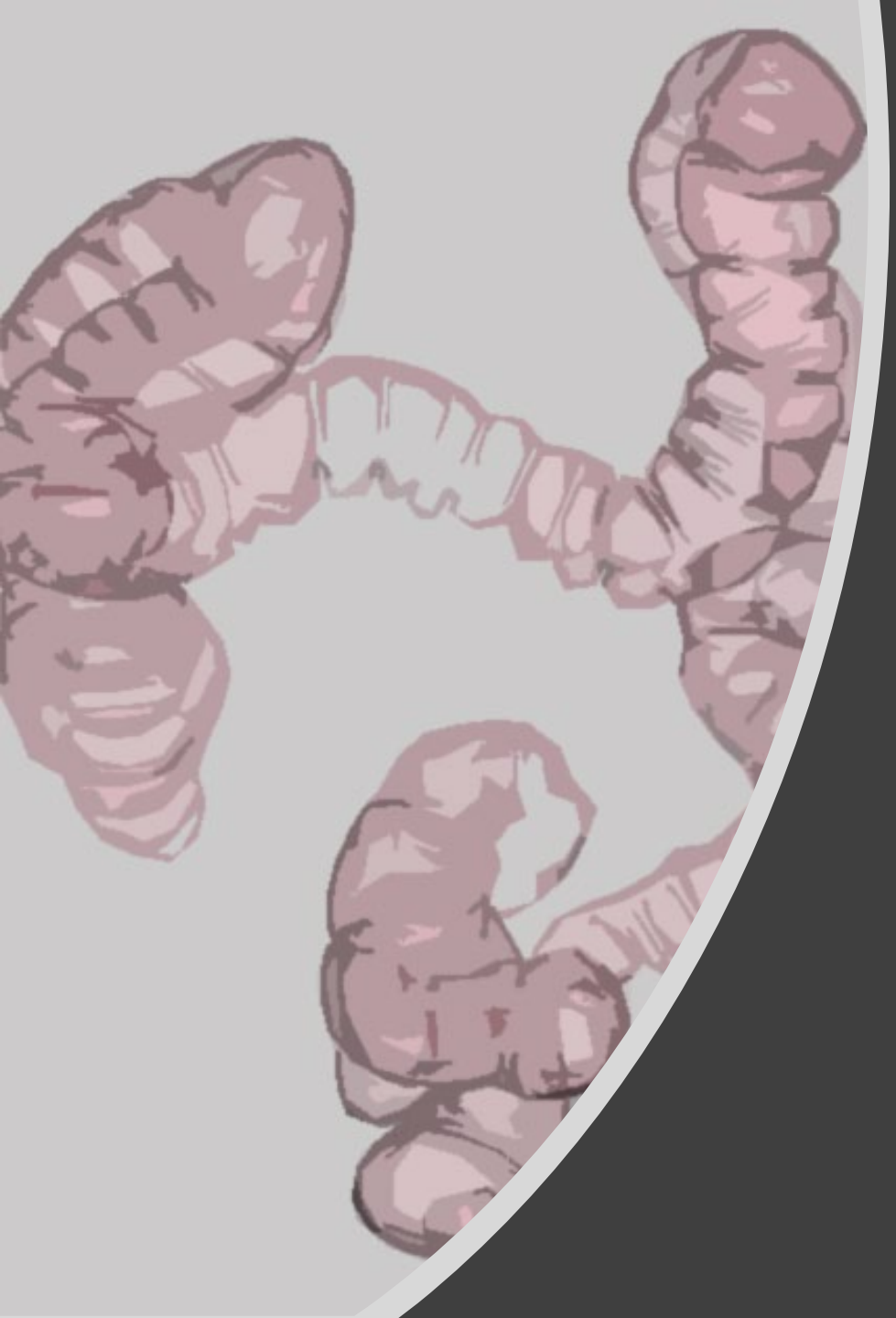


CTCメルマガ vol.153
2026.10.16

韓国の学会に行ってきたヨ

Presented by Daisuke Tsurumaru
Radiology Dept. Kyushu Univ.

先月、KCR（韓国放射線学会）に参加してきました！

今回の目的

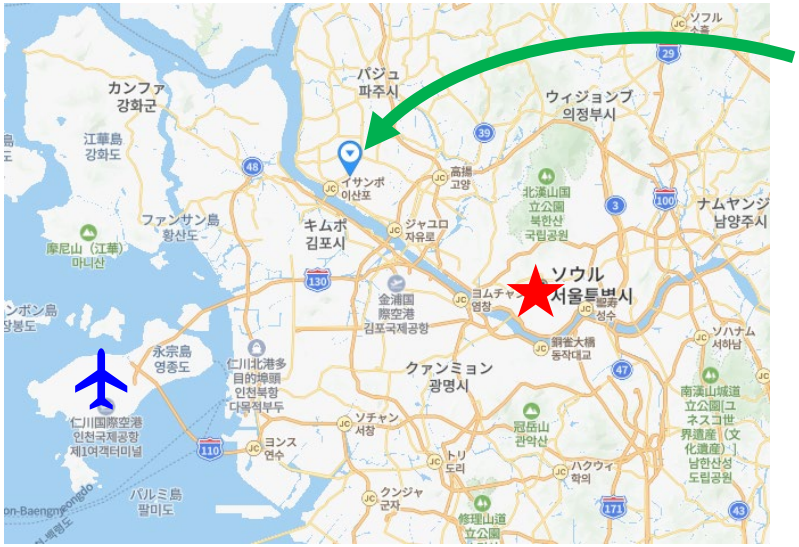
- ✓ 韓国の学会に行ったことないので、初めて参加してみたい。
- ✓ KCRは国際化を強化していると聞いたので、実情を知りたい。
- ✓ 日本の放射線学会（日本医学放射線学会）と比べてみたい。
- ✓ CTCを含めた消化管画像診断の学術を把握したい。
- ✓ 韓国グルメ食べたい！



今回のテーマは「Humanity Thorough Imaging」

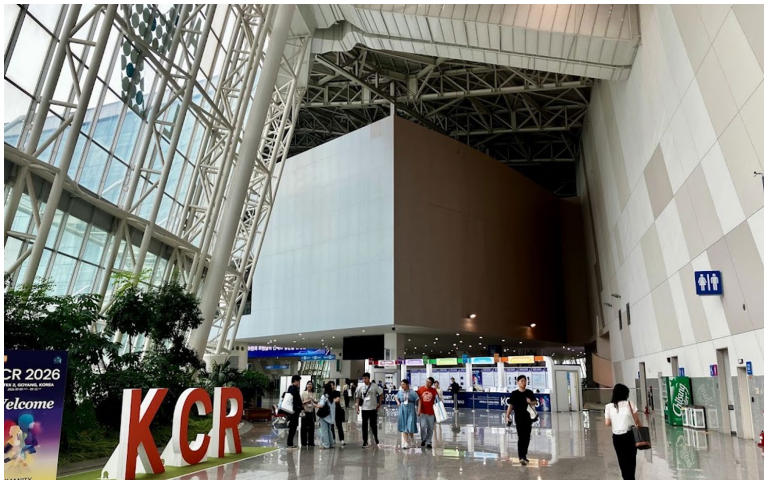


会場はKINTEX（Korea International Exhibition Center）



ソウル中心部から北西約25 km、京畿道高陽市の一山（イルサン）地区に位置する韓国最大級の国際展示・コンベンション施設です。







バックナンバーのライブの準備中でした♪

KCR2026当日の様子を写真で振り返ります。



消化管の演題は意外にも多かった！



入場記録をQRで管理！





CTCの演題がカザフスタンから！思わず演者の先生と記念写真！

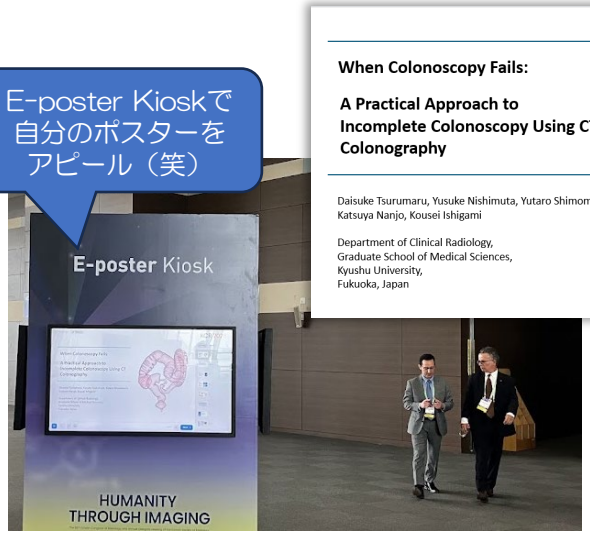


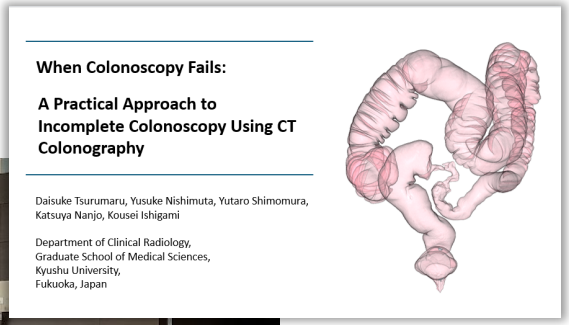
重箱ランチョン♪なんと席に配ってくれます！



定番の立体文字オブジェ♪

E-poster Kioskで自分のポスターをアピール（笑）





KCR 2026と日本医学放射線学会（JRS）を比較してみました。

	KCR 2026	JRS 2026
開催日数	4日	4日
参加者数	3,800人	6,800人
演題総数	661題	192題
海外招待演者数	88人	23人
招聘元の国・地域数	32	12
演題の所属国・地域〈上位〉		
1位	韓国　257題	日本　168題
2位	中国　174題	中国　10題
3位	インド　41題	モンゴル　2題
4位	米国　26題	ベトナム　2題
5位	フィリピン　16題	その他10か国　10題

＊Chat GPTがオープンソースから分析した数字です。

最近では、日本の多くの学会でも国際化が進められています。
KCRでは、海外からの演者や演題を積極的に受け入れ、学会全体で国際化を意識しているの印象的でした。

ソウル歩き（＆韓国グルメ）も味わえたKCR2026でした！



韓国ならでは、
の街並み。





多くの飲食店がタッチパネル＆カード決済。
言語の問題は全くありません！





デフォルトで辛い
けど、美味しい！



地下鉄は現金かT-moneyというカード（コンビニで購入）で、最初は戸惑いました。

国際学会に参加して、日本の立ち位置を考察するのも面白いですね。